

完了後の評価個表

整理番号	8
------	---

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	群馬県
地域（地区）名	あがつま 吾妻	事業実施主体	県、町村、森林組合等
関係市町村	なかのじょうまち 中之条町ほか5町村	管理主体	町村、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H29年度（7年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は群馬県北西部の利根川水系の上流に位置し、総面積は128千ha、森林面積は102千ha（森林率80%）、民有林面積は44千ha、うち人工林は21千ha（人工林率48%）であり、スギ及びカラマツが多くを占めている。人工林の齢級構成は、8齢級以上が約86%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、増大する利用可能な資源の活用と適正な管理が必要となっている。</p> <p>本地区の森林の有する水源涵養や山地保全、地球温暖化の防止等の公益的機能は、地域住民はもとより首都圏を含む下流域の生活や経済活動を支えている。しかしながら本地区では、小規模零細な森林所有者が多く、高齢化や後継者不足などによる森林施業に対する意欲減退や造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞り、森林の有する公益的機能の発揮に支障を及ぼすことが懸念されている。</p> <p>本事業は、森林の有する公益的機能の維持増進を図るために必要な植栽や間伐等の森林整備を推進するとともに、これらの効率的な実施及び木材等生産機能の維持増進を図るために必要不可欠な路網整備を実施したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 森林整備 2,588ha <ul style="list-style-type: none"> 人工造林、下刈り、除伐、間伐等 路網整備 457m <ul style="list-style-type: none"> 林道開設 <p>・ 総事業費 1,563,798千円（税抜き1,461,962千円） （平成22年度の評価時点 1,517,385千円）</p>
----------	---

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和5年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価における総便益及び総費用と完了後の評価における総便益及び総費用との差異は、費用便益分析で使用する単価の変化や労務単価の上昇、優先度に応じた事業の実施に伴い路網整備を追加する等の事業量の変動等によるものである。</p> <p>総便益（B）30,105,351千円（平成22年度の評価時点 8,759,554千円※） 総費用（C）4,191,617千円（平成22年度の評価時点 2,137,893千円※） 分析結果（B/C）7.18（平成22年度の評価時点 4.09※）</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人工造林や保育等により2,588haの森林が整備され、水源涵養や山地保全等といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、高性能林業機械の使用等により効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。 ・林業専用道の開設により457mの路網が整備され、森林整備事業地までの到達時間の短縮や木材運搬等が容易になったことで、森林施業や木材搬出の効率化が図られた。 ・森林整備及び路網整備事業の実施により雇用の場が提供され、地域経済の振興に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。 ・整備された路網は、適切に維持・管理されており、維持管理状況は良好である。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の実施により健全な森林が育成され、水源涵養や山地保全、木材の安定供給等といった多面的機能が高度に発揮されている。 ・路網整備の実施により効率的な森林整備及び木材搬出が可能となり、森林の有する多面的機能が高度に発揮されている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、人口が52,501人、人口密度が41.1人/km²となっており、人口密度は県全体の305.5人/km²に対して極めて低い値となっている。事業実施前の平成22年度時点では、人口が62,917人、人口密度が49.2人/km²であったことから、住民数は減少傾向にあるが、本地区の森林率は80%と、多くの面積を森林が占めており、充実した森林資源の循環利用や公益的機能の発揮が、特に求められている地域であることに変わりはない。 ・平成29年度に、バイオマス発電施設への燃料供給を目的としたチップ生産加工施設が新たに整備され、間伐材等の需要は増加している。また、現在、製材施設やチップ製造施設等を配備した新たな木材利用施設の整備が中之条町において進められており、森林資源の循環利用が促進されることが期待されている。
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、木材を安定的に供給するため、森林経営計画等に基づく適切な森林整備及びその実施に必要な路網整備を着実に推進する必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・木材として利用可能な8齢級以上の人工林が、人工林面積全体の約86%と大部分を占め、豊富な森林資源が利用期を迎えていることから、計画的な伐採と確実な再生林により、将来にわたる木材の安定的な供給を確保し、林業の成長産業化を促進する必要がある。 ・小規模で複数の所有者からなる施業地については、効率よく整備を行うために、路網整備を含めた施業の集約化を行うとともに、伐採から再生林までの一貫作業や下刈り等保育作業の省力化により、低コスト林業の取組を推進し、県産材自給率の向上、森林所有者の所得向上及び地域経済の活性化を図る必要がある。 <p>地元の意見：</p> <p>(群馬県)</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全等の公益的機能の発揮及び路網を整備することにより、持続的かつ効率的な木材供給に寄与している。</p> <p>今後も素材生産や木材加工業者、森林所有者との調整を図りつつ、川上から川下までが一体となった森林整備の仕組みづくりを推進していく。</p>
<p style="text-align: center;">評価結果</p>	<p>必要性： 本地区の森林の有する公益的機能は、地域住民はもとより首都圏を含む下流域の生活や経済活動を支えている。また、木材利用施設の整備が進められるなど、地域における木材需要は高まっており、木材の安定供給の確保も求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 計画的な路網整備により、森林整備事業地へのアクセス向上が図られる等効率的な森林整備が実施されており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現状や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られ、引き続き、その効果が適切に発揮されていることから、事業の有効性が認められる。</p>

※平成22年度評価時点における数値について、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：群馬県

地域(地区)名：吾妻

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	10,249,856	
	流域貯水便益	1,487,541	
	水質浄化便益	5,223,221	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,392,688	
環境保全便益	炭素固定便益	3,143,129	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	231	
	木材利用増進便益	104	
	木材生産確保・増進便益	3,535,487	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	7	
	森林管理等経費縮減便益	4,392	
	森林整備促進便益	24,015	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	44,680	
総 便 益 (B)		30,105,351	
総 費 用 (C)		4,191,617	
費用便益比	$B \div C = \frac{30,105,351}{4,191,617} = 7.18$		

